

交流センターだより

おおとし



大歳地域交流センター
公式Twitter アカウント

No.167
令和5年
2月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

人口 14,026 世帯数 6,885

開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461)

令和5年1月1日現在

大歳地域交流センター後援会から二十歳のつどいの記念品を作成し、プレゼントいたします。

二十歳を迎えた皆さん、おめでとうございます。

これを祝して、大歳地域交流センター後援会から、二十歳を迎えた皆様に、二十歳のつどいに関連する写真を基にポスターカレンダーを作成し、贈呈いたします。

希望する方は、以下の要領で、申込（写真の送信など）をしてください♪



【対象者】平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた方
(令和5年1月8日(日)に二十歳のつどいを迎えられた方)

【申込方法】

二十歳のつどいの写真(1～3枚)のデータを大歳地域交流センター後援会の公式アカウント(ID:@060txsix または QRコード読み取り)宛に送信してください。

※本文には、対象者の①氏名②住所③連絡先(日中連絡のつく電話番号)

④生年月日を入力してください。

※写真はできるだけ大きい容量が好ましいです。必ず『オリジナル』のサイズで送信をお願いいたします。
(オリジナルサイズで送信するためのボタンがあります!)



お申込みは
こちらから



【申込期間】令和5年2月1日(水)～令和5年2月22日(水)

【受け渡し】準備が整い次第、事務局より通知いたしますので、
通知を受け取られたら、センターまでお越しください。

【費用負担】大歳地域交流センター後援会から、無料で贈呈いたします。

【問い合わせ先】

大歳地域交流センター後援会 事務局 (TEL:083-922-4035)

【その他】

※写真は前撮りの写真でも構いません。

※記念品の申込みや受け取りは、ご家族などでも構いません。

※記念品は、お1人につき、1つとさせていただきます。



大歳お花づくりの会からのお知らせ

このたび3年ぶりに大歳地区社会福祉協議会の事業「ふれあい弁当」が再開（3月8日・9日）されます。つきましては、そのお弁当に添える「ペーパーフラワー」のお花づくりを行います。

「新しい年の初め！何か始めてみたい。」と思われている方、手作りが好きな方、「自分なりのボランティアがしたい。」と思われている方、参加してみませんか。

経験がなくても楽しく気軽に取り組みます。友達づくりにも繋がりますよ。多くの方に参加していただければと思います。お待ちしております。

◆日時 2月（7日・14日・21日・28日）、3月6日 いずれも9時00分～12時00分
※参加できる日だけでもOKです。

◆場所 大歳地域交流センター 講堂

◆持ってくる物 工作はさみ、ボンド、お手拭き

◆申込み 不要です。直接お越しください。

◆問い合わせ先 大窪 ☎080-2904-8193



鴻南地域包括支援センターからのお知らせ

「高齢者向け住まい・施設について」

ご自宅以外の住まいの選択肢として、「老人ホーム」とひとくくりにしがちですが、高齢者向けの住まいには様々な種類があります。入居時の条件、費用なども施設によって違います。

今、住んでいる地域で自分らしく生活が続けていくために、住まい・施設について考えてみるのも良いかもしれません。2月は、主な施設についての提示を、大歳地域交流センター1階で行っていますので、ご来館の際にご覧ください。その方の状況に応じた施設についてのご相談は、包括支援センターへお気軽にご相談ください。

★介護でお困りの時も、包括支援センターへ

問い合わせ先：山口市鴻南地域包括支援センター

☎ 083-934-3333



太陽クラブからのお知らせ

きららシニア大歳の皆さんをお招きして、一緒に昔の遊びをしましょう。お手玉や、紙風船、紙ひこうきなどもりだくさんですよ！

日時：2月24日（金）10時00分～

場所：大歳地域交流センター 和室

持ち物：飲み物

募集人数：未就園児の親子10組程度

申込先：竹中（090-7136-8305）



「みんなのひろば」からのお知らせ

いろいろな遊びを通して心も身体もリフレッシュしよう！

☆ニュースポーツ「クッブ」の体験

☆脳トレクイズ

☆間違い探し

☆コーヒースタンド（おやつ付き）

◆日時 2月18日（土）13時30分～15時00分

◆場所 大歳地域交流センター 講堂

◆参加費 100円

◆問い合わせ先 きららシニア大歳（大窪 080-2904-8193）



カローリングクラブの日程変更について

【変更前】

2月4日（土） 9:00～11:00

【変更後】

2月11日（土）

9:00～11:00

太陽光発電講座・ミニソーラーカー工作のお知らせ

山口市は、2050年CO2の排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言を行っており、その実現に向けて市民・事業者と一体となって地域脱炭素の取組を進めています。こうした中で市民一人ひとりができる取組のひとつに太陽光発電の活用があります。

地球環境の現状に目を向けながら、太陽光発電について学び、疑問を解決しませんか。ミニソーラーカー工作も行います！

申込フォーム



□日時：令和5年2月18日（土）10時00分～12時00分

□会場：大歳地域交流センター 講堂

□内容：地球温暖化の現状、太陽光発電についての講演、ミニソーラーカー工作

□定員：小学4年生以上の市内在住の方 先着20名

（小学生の参加は保護者同伴）

□参加費：無料

□講師：今村主税（山口県立大学看護栄養学部准教授）（当会代表）

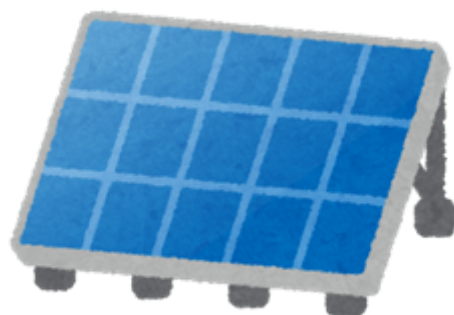
津田龍春（(株)エボリューション）（当会会員）

□申込み・問い合わせ：2月15日（水）までに、温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち（環境政策課内）まで

TEL：083-941-2181

FAX：083-927-1530

メール：tomeruccha@orion.ocn.ne.jp



【大歳地区



2月



の行事予定]



2日(木) 燃やせないごみの日
市・県民税申告相談(9:30～14:00)
7日(火) 大歳お花づくりの会(9:00～12:00)
8日(水) 母子相談
10日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
11日(土) カローリングクラブ(9:00～11:00)
13日(月) 金属・小型家電製品の日
14日(火) 大歳お花づくりの会(9:00～12:00)
15日(水) びん・缶の日
17日(金) パソコン相談(受付 10:00～10:30)

18日(土) 太陽光発電講座 (10:00～12:00)
みんなのひろば(13:30～15:00)
20日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
21日(火) 大歳お花づくりの会(9:00～12:00)
24日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
子育てサークル太陽クラブ(10:00～)
ぶっくん来館日(15:20～16:00)
28日(火) 大歳お花づくりの会(9:00～12:00)
※木曜日はプラ容器包装分別収集



交流センターの盃状穴

大歳小学校の校門に近い交流センター入り口を入るとすぐ左手の看板の下に、平べったい石がおかれています。石の表面に小さな丸い穴がいくつも彫られており、盃状穴と呼ばれています。

1980（昭和55）年に、大内・上矢田の神田山遺跡から発掘された古墳時代初頭の第1号墓の箱式石棺の石蓋に多くの穴が彫られているのが見つかりました。この穴は発掘を指導した国分直一梅光学院大教授によって「盃状穴」と名付けられましたが、この神田山遺跡の盃状穴の発見により、それより5年前に福岡市の隣、糸島にある三雲遺跡群（魏志倭人伝に書かれた伊都国の遺跡と考えられている）の弥生前期の支石墓の蓋石に彫られた穴と同様なものであり、さらに、朝鮮半島の支石墓に数多く刻まれたものと酷似していることが明らかになりました。実は、それ以前にも、あちこちに盃状穴を刻み込んだ石は見つけられていましたが、時代も何に彫り込んだかも雑多すぎて歴史的な分析の対象とされていませんでしたが、神田山古墳の盃状穴の発掘によって、古墳時代以前の盃状穴は石棺の蓋石に彫り込まれているという共通点が明らかになり、その意味の分析も可能となったのです。

ところで、生産と人口の増加が集落繁栄の第1条件であった原始・古代においては、このことを祈るシンボルが盃状穴だったと考えられます。死者を埋葬するための石棺の蓋石に女性のシンボルを彫り込み、母胎に帰って、再び生まれてくることを願った呪術的な彫り物であったと考えられています。再生と繁栄の願いが、埋葬の石に穴を彫り込むという単純な行動で表され、思いを込めて何人もの人によって彫られたため、数も配列も大きさも深さもバラバラになったのではないかと想像されます。

これが第1義的な盃状穴です。ところが盃状穴に関する歴史的な分析を困難にしているのは、古墳時代を機に途絶えたはずの盃状穴が鎌倉期に復活し、江戸期には数多く彫り込まれ、大正・昭和期まで続いたことです。古墳期までの第1期の盃状穴はてんでに石に穴をほるといふ拙さゆえに、その呪術性がうかびあがり、その拙さゆえに古墳時代以降は姿を消したのだと想定できますが、鎌倉期以降の盃状穴にどのような意味があるのかは明確にうかびあがってきません。とりわけ、江戸中期以降の手水鉢への彫り込みなどは装飾性のみが強く浮かび上がってきます。おまけに、古代の盃状穴に手を加えた例も多く、古代の盃状穴であっても、神田山遺跡のように、新たに発掘された蓋石の盃状穴でなければ、原形をとどめていない可能性が高くなるという、歴史的には大きな弱点を抱えています。

そういうわけで、盃状穴の大半は古代のものではなく、近代の制作によるものと考えた方がよく、歴史的価値はあまり高くありません。でも、何のために、どのような願いを込めて彫られたのかを解き明かす仕事はあなたに残されています。それは、彫り込んだ人の願いを想像する楽しみを独占できることでもあります。

（大歳史談会： 文責 武波義明）



「おおとし みてみて ボード」の下に置いてある数個の盃状穴が彫られている石



石に彫られている盃状穴の一つの拡大写真